

キイオオトラフコガネ兵庫県に産す

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 4 2)

高 橋 寿 郎

最近三宅義一氏は紀伊半島産と九州中・南部産のオオトラフコガネを従来のオオトラフコガネから別けて新名を与えられた(北九州の昆虫 Vol. 37, No.1, pp.27-32, pl.4, 1990). 兵庫県に産するオオトラフコガネは基本的な *Paratrichius doenitzi* に当るのかと調べて見た。

この種は兵庫県では瀬戸内海に面した地域、六甲山系などでは今の所見つかっておらず県の中央部から北宍粟郡音水、赤西、養父郡氷の山、美方郡扇の山あたりには割合多く産するようで筆者の手許にも宍粟郡音水産2♂、2♀、養父郡氷の山産15♂、10♀の標本がある。そこでその内の数♂の交尾器を調べて見た所この交尾器は今回三宅義一が *P. itoi* Tagawa キイオオトラフコガネとして図示された交尾器にはほぼ一致する。筆者所有群馬県産♂は三宅氏の *P. doenitzi* に一致した。手許にある和歌山県護国寺山1♂、奈良県大台ヶ原産1♂の標本の♂交尾器も兵庫県産とはほぼ同じ様であった。従って兵庫県にて採集しているのはキイオオトラフコガネと同定すべきかと思うが後脛節の刺は強く曲り90度で三宅氏の図より強く曲っている。♀交尾器はよく調べていないがこの類を可成り前から詳しく調べておられ色々の資料等を御送りいただいている香川県の佐野信雄氏によると兵庫県のもは岡山、滋賀、福井、三重に分布している型で中国地方(広島、岡山)、和歌山、奈良に分布している型とやや差異があるようになっている。もっと数多くの産地の標本を調べて見ないと良くわからないが少なくとも兵庫県産のオオトラフコガネは *P. doenitzi* では無いようで一応キイオオトラフコガネ *P. itoi* としておくがそれで良いのかどうか紀伊半島から兵庫県の中・北部に致る間での各地標本とか中国山脈の標本をもっと集めて見てみないといけない様に思われる。参考のため筆者所有兵庫県産標本のデータを次にしておく。

兵庫県宍粟郡音水 2♂, 13-VII-1958, 1♀, 20-VII-1969, 1♀, 15-VII-1973, 養父郡氷の山, 1♂, 22-VII-1954, Y. Yamamoto leg., 5♂, 3♀, 27-VII-1956, 6♂, 6♀, 21-VII-1958, 3♂, 1♀, 26-VII-1959 (山本義丸氏採集標本以外全部筆者採集)。